

第43回全国消防救助技術大会出場決定

第36回大分県消防救助技術大会が6月6日に大分市消防総合訓練所で開催され、杵築速見消防組合からは「ブリッジ救出」及び「はしご登はん」の部に出場、トップの成績を収め、ブリッジ救出においては、7月18日に宮崎県で開催される第43回九州地区消防救助技術指導会への出場を獲得、はしご登はんにおいては8月27日に開催される第43回全国消防救助技術大会への出場を獲得しました。「ブリッジ救出」は4人1組（要救助者を含む）で、2人が水平に展張された渡過ロープ（20メートル）により対面する塔上へ進入し、要救助者を救出ロープに吊り下げてけん引して救出した後脱出する、要救助者を隣の建物等から進入し、救出することを目的とした訓練です。はしご登はんは、自己確保の命綱を結索した後、垂直はしごを15メートル登はんする、災害建物への進入等、消防活動には欠かせない訓練です。隊員は4月から猛練習を積み重ねてきました。災害現場で活動する救助隊員には、活動に不可欠な体力と精神力に併せて、救助技術の確実性、迅速性、安全性が要求されますが、来る九州大会及び全国大会で頂点を目指すとともに、万が一の災害に備えて更に訓練を行っていきますので、応援をよろしくお願いいたします。



はしご登はんに出場した常見隊員



ロープブリッジ救出に出場した田村隊員、清末隊員、宇留嶋隊員、阿部隊員